

活用調査表

様式6

技術名 無排土孔壁工法	登録 No. 18D1032						
施工内容 工 事 名 : 平成19年度関火山第6-1号西谷川火山砂防工事 施工数量 : SP-Ⅲ L=9.0m 68枚分 SP-V L=11.0m 25枚分 工 期 : 平成19年9月26～平成19年11月14日							
概 要 硬質地盤に杭、鋼矢板を打ち込む際、排土を出さずに効率良く削孔する技術。特殊スクリーにより土砂・礫・玉石等を掘削孔壁に圧縮し、排土を出さず崩壊のない掘削孔をつくるためベントナイト安定液が不要となり産業廃棄物を出さない。硬質地盤を効率良く穿孔でき、穴曲がりを起こし難いため、柱列掘削が可能。							
特 徴 ・硬質地盤を効率良く削孔でき、工期短縮ができる。 ・工期の短縮と使用機械が少ないことでコスト削減ができる。 ・産業廃棄物、残土が出ないため処理費が削減できる。 ・高所作業が無く、転落災害の危険性が少ない。 ・機械が低重心で転倒の危険性が少ない。							
実施結果 比較した従来技術 「全周回転置換工法」 ・口径が小さく、ケーシングチューブの設置・撤去作業がないため、工期短縮となった。 ・遠隔操作により重機災害の危険性が減少し、安全性が高い。 ・振動騒音が少ないため、周辺への影響が少ない。 ・残土が発生しない。							
トライアル工事での評価結果 <table border="1" data-bbox="151 1601 670 1736"> <tr> <td>☐ 経済性</td> <td>☒ 安全性</td> </tr> <tr> <td>☐ 工程</td> <td>☐ 施工性</td> </tr> <tr> <td>☐ 品質</td> <td>☒ 環境</td> </tr> </table> ◎:優れている ○:やや優れている □:従来技術と比べて同程度 △:やや劣っている ×:劣っている	☐ 経済性	☒ 安全性	☐ 工程	☐ 施工性	☐ 品質	☒ 環境	
☐ 経済性	☒ 安全性						
☐ 工程	☐ 施工性						
☐ 品質	☒ 環境						
新技術問い合わせ先 会社名 : (株)MLTソイル 所属部課 : 担当者 : 畠山 寛之 T E L : 025-259-9005							